

ディボーション質問表



ネヘミヤ記の内容は、大きく3つの部分に分けることができます。エルサレム城壁の再建（1章～7:4）、エズラ、ネヘミヤの宗教改革（7:5～10章）、付記的事項（11～13章）。

4日（月）ネヘミヤ記 6:1～14 最後の妨害

1. 敵による執拗かつ巧妙な攻撃がなされている様子が描かれています。それに対するネヘミヤの対応から何を学ぶ事が出来るでしょうか（1～8節）？
2. 9節の最後にネヘミヤのとっさの祈りが書かれています。この短い祈りを通して学べる事はあるでしょうか？
3. 10節からはネヘミヤの身近なものにさえ、敵からの買収が波及していた事がわかります。身近な人からの進言だからといって、無批判に受け入れて悪魔のワナにおちいった経験はないでしょうか？

5日（火）ネヘミヤ記 6:15～7:4 城壁の完成

1. 15節以降のユダの名士達とネヘミヤの違いを考えてみましょう。世に対して変な妥協をしてはいないでしょうか（15～19節）？
2. ネヘミヤは2人の同労者ハナニとハナヌヤにエルサレム統治を任せます（2節）。このような権威分与と継続的な精神的サポートをする関係をあなたは誰かともっているでしょうか？
3. 3節に「太陽が高く上って暑くなる前に、エルサレムの門をあけてはならない。～」とありますが、これはどうしてだと思えますか？このような指示を出したネヘミヤの知恵をどう思えますか？

5日（水）ネヘミヤ記 7:5～72a 帰還者の一覧表

1. 5節で主がネヘミヤの心を動かして、させた事は何だったのでしょうか？その結果どのような事が続いて起こっていったのでしょうか？
2. ゼルバベル達と一緒に戻って来た初期の帰還者のリストが確認されます。祭司職にふさわしい者がいなかった所以他们は最も聖なるものを食べる事はできませんでした。しかし、私たちはどうでしょうか？常に私たちを神にとりなしてくださるイエス様がいることでどんな安心が得られるのでしょうか？
3. 一族のかしら（69～70節）たちがささげた事が書かれています。彼らの姿勢から学べる事はあるでしょうか？

6日（木）ネヘミヤ記 7:72b～8:18 律法の朗読

1. 集まって来た民の方から、律法の本を朗読する事を求めています。そして神の言葉を聞いた人々は主を礼拝します。この時彼らはなぜ泣いていたのでしょうか（9節）？また、彼らに対してネヘミヤはどのようなアドバイスをおくりましたか？
2. 10節の別訳を読んであなたはどう感じますか。主を喜ぶ事に伴う祝福をあげてみましょう。
3. イスラエル人は仮庵を作り、主を覚えます。このような仮庵に住む事によって彼らは神からどういうメッセージを受け取ったと思えますか？あなたにとってはこのような仮庵の野宿生活はどんな意味を持つのでしょうか？

8日（金）ネヘミヤ記 9:1～25節 悔い改めの祈り1

1. 24日に集まって来た人々がした事が書かれています。彼らはどのようにして集まって来て、何をしているのでしょうか？彼らがしている事を観察しながら、その意味する事を考えてみましょう。そして、それを自分の生活に適用してみましょう。
2. アブラハムからモーセ、そしてカナンへの地定住までのイスラエルの歴史が出てきます。この箇所から新たに発見した事が何かありますか？それを自分の人生にどう適用できるのでしょうか？

9日（土）ネヘミヤ記 9:26～37節 悔い改めの祈り2

1. ここには主の誠実さとイスラエルの不従順の対比が出てきます。これによってどんな罪の原則を見つける事が出来るでしょうか？あなた自身はどのような罪を示されたのでしょうか？あるなら、主に告白し、赦しを受け止めましょう。
2. この箇所に出てくる主の御性質を書き出してみましょう。それがイスラエルの民に何をもたらしているのでしょうか？またあなた自身にとってそれはどのような励ましをもたらすのでしょうか？

***今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**